

お知らせ

令和5年10月11日

「令和5年度第2回山陰道地すべり対策検討委員会」 の開催結果及び今後の予定について

令和5年10月11日に開催した「令和5年度第2回山陰道地すべり対策検討委員会」の開催結果及びその結果に基づいた今後の予定についてお知らせします。

〈地すべり検討委員会結果〉

- ・議事次第、出席者配席表・・・・・・・・別紙－1
- ・説明資料・・・・・・・・別紙－2
- ・結果要旨・・・・・・・・別紙－3

〈今後の予定〉

○恒久対策としては、以下の対策内容を基本として検討を進める。

- ・グラウンドアンカー工
- ・横ボーリング工（地下水排除工）
- ・法枠工

○地すべり観測について

- ・一部の計器で微小な変動が確認されているが、地すべりブロック全体の変動状況は、概ね安定した状態にあると評価でき、現状の監視体制を継続する。

問い合わせ先	国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所
	副所長（管理） 伊藤 法政（いとう のりまさ）（内205）
	【担 当】保全対策官 高橋 大輔（たかはし だいすけ）（内408）
	【広報担当】計画課長 山本 活稔（やまもと かつとし）（内261）
	TEL：（0852）60-1347（直通）
	：（0852）26-0611（夜間・休日）
	URL： https://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/

※松江国道事務所では、X(旧twitter)による情報発信を行っています。

X(旧twitter) https://twitter.com/road_matsue

※道路の異状を発見したら、道路緊急ダイヤル 緊急通報#9910へ

QRコード



山陰道地すべり対策検討委員会

日 時：令和5年10月11日（水）13:15～

場 所：松江国道事務所 3階会議室（WEB併用）

議 事 次 第

1. 開会

1) 松江国道事務所長 挨拶

2. 議事

1) 地すべりの機構解析

2) 恒久対策の方向性について

3. 閉会

令和5年度第2回山陰道地すべり対策検討委員会

出席者配席表

スクリーン

事務局

事務局

PC・WEBカメラ

出入口

委員
島根大学
准教授 小暮 哲也

マイク・スピーカー

委員
松江国道事務所長
近藤 弘嗣

委員
中国地方整備局 道路部
道路情報管理官 前田 文雄

報道席

報道席

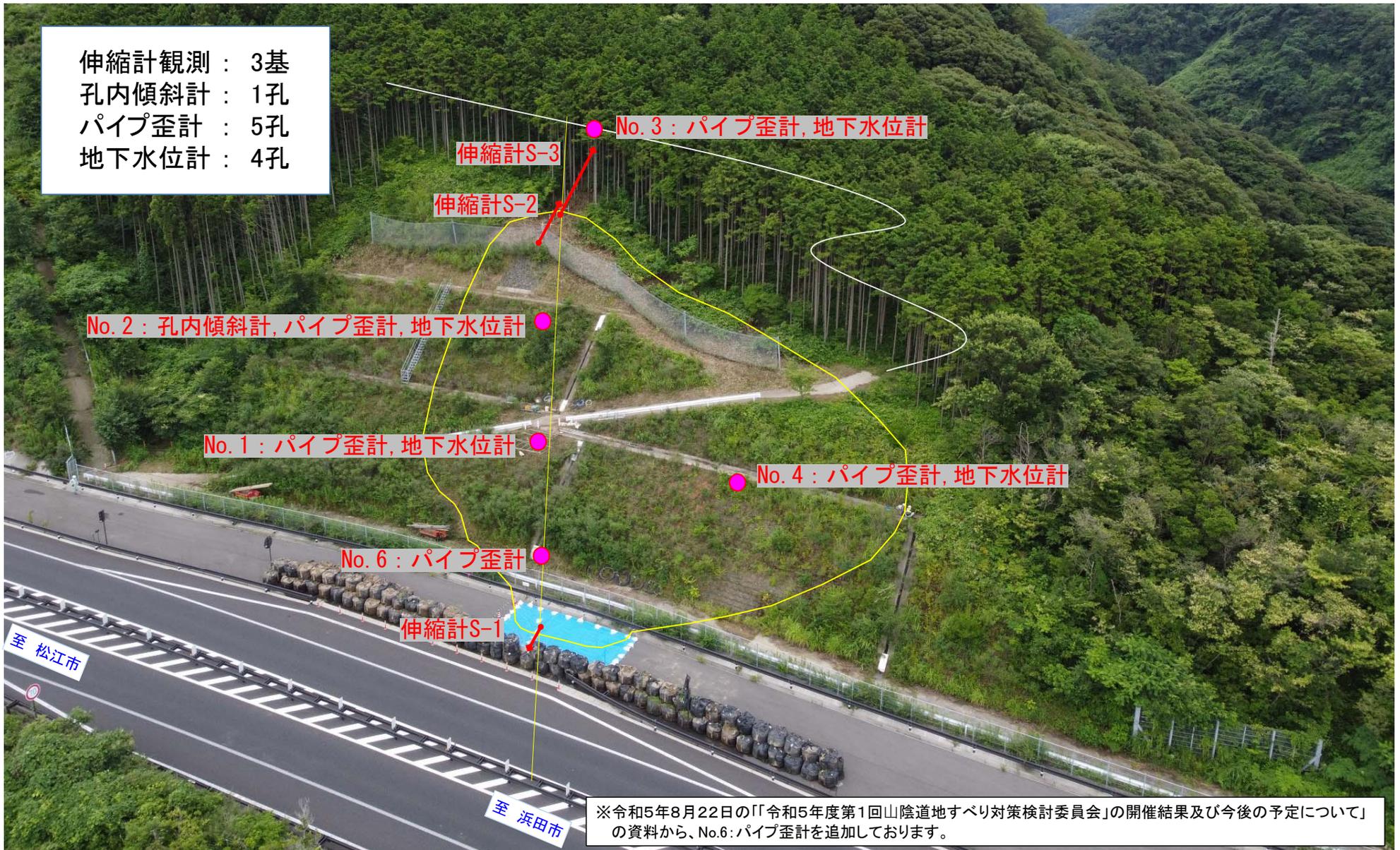
委員長
松江工業高等専門学校
教授 河原 荘一郎

※Web参加者

国土技術政策総合研究所	道路基礎研究室長	渡邊 一弘
国立研究開発法人	土木研究所 上席研究員	杉本 宏之
国立研究開発法人	土木研究所 上席研究員	浅井 健一

■ 観測計器の配置状況と観測結果

一部の計器で微小な変動が確認されているが、地すべりブロック全体の変動状況は、概ね安定した状態にあると評価でき、現状の監視体制を継続する。



■ 恒久対策の検討

恒久対策としては、以下の対策内容を基本として検討を進める。

- ・グラウンドアンカー工
- ・横ボーリング工(地下水排除工)
- ・法枠工

<施工例写真>

グラウンドアンカー工



横ボーリング工(地下水排除工)



法枠工



○地すべり観測結果について

- ・一部の計器で微少な変動が確認されているが、地すべりブロック全体の変動状況は、概ね安定した状態にあると評価でき、現状の監視体制を継続する。

○地すべりの状況について

- ・すべり面の推定：すべり面は、ボーリングコア、および、地すべり観測結果により推定した。
- ・地すべり機構解析：道路掘削に伴う応力解放や、その後の降雨等により、のり面のゆるみが進行し、地すべりが発生したと推定される。

○恒久対策の方向性と今後の予定

恒久対策としては、以下の対策内容を基本として検討を進める。

- ・グラウンドアンカー工
- ・横ボーリング工（地下水排除工）
- ・法枠工

【委員会での議論の結果】

地すべり観測結果、地すべりの状況、恒久対策の方向性と今後の予定については、概ね妥当である。